

## グループ28番目の病院となる『熱海 海に見える病院』が完成 4月1日のオープンを前に内覧会・竣工式を開催 戸田中央医科グループ

戸田中央医科グループ(TMG、中村隆俊会長)の医療法人伊豆七海会(中村隆俊理事長)は12日、静岡県熱海市に4月1日にグループ28番目の病院としてオープンする『熱海 海に見える病院』(鈴木和浩院長)の内覧会・竣工式を開催した。当日は、同グループや市、近隣の医療関係者ら約200人が出席。新病院の完成とともに地域医療のさらなる発展を願った。

竣工式で登壇したTMGの中村毅副会長は「地域に密着し、愛し愛される病院となるよう、職員一同、努力していく」、横川秀男副会長は「この地域における自分たちの役割を担うため、質の高い医療を提供していく」と、それぞれ挨拶。鈴木和浩院長は「(同じ伊豆七海会が運営する)熱海所記念病院と互いの機能を補完し合い、地域に愛される病院をつくっていく」と決意を語った。

新病院は、鉄筋コンクリート造り6階建てで、敷地面積9834平方メートル、延べ床面積5259平方メートル。診療科目は内科とリハビリテーション科で、病床数は112床(一般病床40床、療養病床72床)。内科は一般内科のほか腎臓や腫瘍、透析などの診療にあたる。最新鋭の機器が導入された透析室には専用のベッドを15床設置し、透析患者60人に対応。観光客を対象にした“旅



相模湾を一望できる熱海の高台に建つ『熱海 海に見える病院』



関係者らが出席して行われた竣工式

行透析”も受け入れる。

相模湾を一望できる良好な環境のもと、『熱海所記念病院』と綿密な連携を図りながら、入院医療はもとより、在宅復帰に向けたリハビリや透析、抗癌剤治療など、地域に根差した医療を実践する新病院のオープンに期待が集まる。